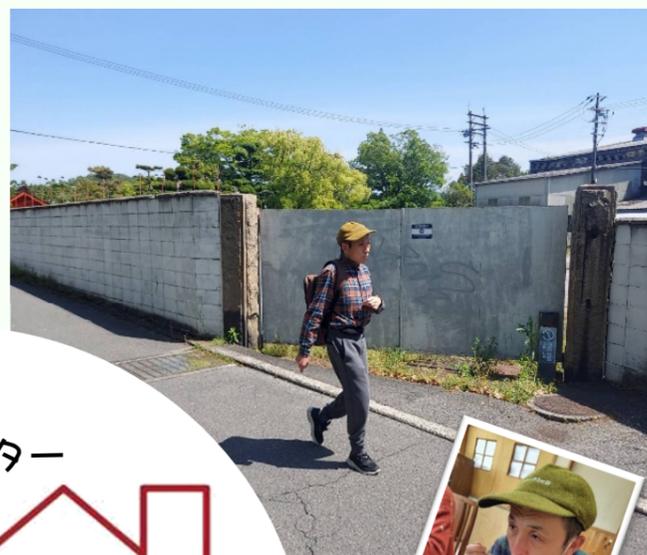


ふたかみ NEWS プチトマト



大西記念センター

グループホームの休日 いろいろ

連休中は晴れた日にみんなで散歩をしたり、ホームでホットケーキを作ったりしました。パン食べ放題のお店ではお腹いっぱい食べて大満足！お出かけしたい人とホームでのんびりしたい人に分かれて、それぞれの休日を満喫しました♪
(経澤)



社会福祉法人ふたかみ福祉会

〒583-0841 大阪府羽曳野市駒ヶ谷 105 番地 1 TEL 072-959-3221 FAX 072-959-3264

Email: futakami@kagayaku-inochi.com <https://kagayaku-inochi.com/company/>

発行責任者: 石本悦二 編集責任者: 関口奈緒美



七福神缶バッジ



MEMO

お問い合わせ先
羽曳野市駒ヶ谷 106-1
072-957-4041

はびきの園
アトリエ班

アトリエ班の山内美佐子さんが描かれた七福神で缶バッジを作成しました☆
ぜひ、かわいい七福神に癒されてみてはどうでしょうか♡
はびきの園にて、6月より販売します！
夏物品販売でも購入可能です！！
お買い上げ待ってま〜す(*'ω'*)

支援センターはる（南河内北障害者就業・生活支援センター） はるクラブ「女性特別企画」

センターに登録されている方の意見の中から企画を立てて行っています。

今回は「一人旅」「旅行」バスツアー等、団体ではなかなか予定が合わないことや「苦手」などが理由で「旅行にどうやって行けばよいかわからない」といった意見が挙がりました。

「それならみんなで旅行代理店へ偵察に行こう！」ということで、みんなでどんな場所があるのか、グルメ・景色、何を目的にするのかなどを話しながら気になったパンフレットを各自手に取り、イメージを膨らませていました。

気になったパンフレットを手に、カフェで意見交換。経験者の話を聞いて、さらに旅行への企画について盛り上がっていました！

(伊藤)



HAPI BAR

オレンジカフェは、認知症の人やその家族、地域の介護や福祉の専門家など誰でも参加でき、お茶を飲みながらゆっくりお話しできる場所です。カフェには専門職の方が居るので介護についての相談も出来ます。

毎月第一月曜日の午後からハピバールで開催しているので、どなたでも気軽にお茶しに来て下さいね♪
コーヒーもお得な料金で提供させていただきます！ (大西)



cafeハピバール

6月の予定

定休日 毎週水曜/日曜
休み 7日(土)、21日(土)
28日(土)

★インスタグラム★
cafe-hapibar.com

お問い合わせ先
072-958-3232

■後援会入会及び更新の方々（敬称略）

2025年3月、4月

*先月号（3月更新記載）に誤りがありましたので、3月と4月更新の方を記載させていただきます。

- ・田中美希 . . . 8口
- ・戸田勝浩 . . . 2口
- ・黒萩友一 梅田明 出口哲史 谷真理子 池田三知代 . . . 1口
- ・渡辺博子 . . . 6口
- ・山下紀永 . . . 4口

■寄付 田中美希様 戸田勝浩様 谷真理子様 池田三知代様

■アルミ缶回収（4月分） . . . 1064 kg

ありがとうございます

◆2025年度ふたかみ福祉会後援会入会、更新のお願い◆

皆様の引き続き日中支援事業所や相談支援へのご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

【個人会費：1口2,000円 団体費：1口10,000円】 郵便振替口座：00940-5-325894

個人会費については6月の総会で、2025年度からの会費の改定を予定しています。

「能登支援に行つて」

4月20日から4月26日まで石川県の輪島市に行き、復興支援に参加しました。実際に被災地を見て、障がいのある人たちがどういった生活を余儀なくされているのか、どういった困難がある中で日々生活を送っているのかを自分自身が大きな震災に見舞われた時に何が出来るのかを学びたいという思いで参加させてもらいました。当日までに「CO」のホームページを見てどういった支援を行っているかを事前学習しました。

初日は今回拠点となる「和倉温泉」の視察を行いました。世界的に有名な「加賀屋」も震災の被害を受けて休業しているのを知りました。一時期20ほどあった旅館も現在は5店舗ほどしか営業することが出来ておらずかつて賑やかだった街並みを見ることは出来ませんでした。

2日目は実際に輪島市や珠洲市を訪れて現地視察を行いました。輪島市では有名な「朝市」が行われていた場所に行きましたが、建物は全壊し、現在は更

地に整備されていきました。そして衝撃的だったのが、全壊そのまま放置されている家、すでに更地になった土地、まだ住んでいる家が並んでいる場所があり、そこで生活していた人たちの事を考えるとやるせない気持ちになりました。珠洲市では実際に被災した施設の方のお話を聞きました。職員不足やなかまの退所が相次いでいる現状（震災後に金沢に移住する職員やなかまが多数）や1月1日に起きた地震で全員の安否の確認が出来たのが17日後になった（電話が繋がらない状況が続いた）などの話をお聞きしました。携帯の電話は繋がらなかったが「F」は繋がったなども教えてもらいました。

3日目からは「あすなろふたばばいんの会」の支援に入りま

した。朝は送迎を行い、施設に到着後なかまと一緒に「箱折り」や「ゴム切り」「図書館の本の撤去作業」を行いました。図書館の作業は被災して廃館となった輪島市図書館から依頼を受けたものであり作業で得たお金は工賃につながっていると知る

きょうざん大阪支部総会 「なかまの願いからはじまる運動と実践を」

いつにも増してすこく熱のこもった支部長の情勢報告で開会されました。平和や災害支援など私たちの生活の根本が危うく、過去の運動の成果である「基本合意文書」は守られていないままになっている事が伝えられました。活動報告で、印象に残った事は国の予算の使い方です。2024年度の報酬改定で約7割の事業所の収入が減りました。

一方、11年連続で防衛予算は過去最高を更新し続けています。福祉事業は人権費の割合が支出の中では大きいですが、収入が減れば人件費を減らざるを得なくなり、福祉に限らずどの分野でも人材難が課題になっています。このままでは、障害のあるなかまが安心して暮らせる環境を維持できなくなり、同じ予算を使うなら軍備より人を幸せにする福祉の充実が当たり前の事だと思えます。

また、発言交流で利用契約制度の中で事業指定をする側、指定を受ける側となり、障害の重い人を受け入れてきた社会福祉法人と行政との信頼関係が築け

なくなっているという報告がありました。これでは障害のあるなかまへの個別的な丁寧な実践を行うことが難しくなり、行政の定めた画一的な支援になってしまします。改めてきょうざんが訴え続けてきた、なかまの願いからはじまる運動と実践の貴重さを感じました。

そして今回の総会で大きな決定がありました。2026年9月23・24日、グランキューブ大阪で49回目の全国大会をする事です。

大阪では過去に3回大会を行っています。その度に支部の力を集めて強く大きくなってきた過去があります。また外との繋がりを強め、理解者や応援団を増やす事に繋がります。困難な状況に立ち向かう大きな一歩を踏み出す決意を固めた総会になりました。



(関口)



ことが出来ました。

今回復興支援に参加して私が一番思ったことは「普段の生活は当たり前ではない」です。大震災が起きるとコンビニを開けることが出来なくなることや、送迎車を出すことが出来なくなります。輪島市ではコンビニが閉まって買物が出来ない状況が続く、コンビニが再開した時には大喜びをしたそうです。今まで当たり前と生きていたことが大震災をきっかけに当り前ではなくなると改めて感じ、すべてのことに感謝して今後も過ごしていきたいと思いました。

最後に私が復興支援に参加したいと話したときに送り出してくれた法人や家族に感謝しながら、今回学んだことを今後の仕事に活かしていきたいと思えます。ありがとうございました。

(波多江ひ)



社会福祉経営全国会議大阪支部

「権利としての社会福祉」を守ろうと社会福祉経営全国会議（以下・全国会議）が発足して5年、社会福祉経営者同友会が発展的解消をし、全国会議の大阪支部として結成して丸2年を終え、第3回目の総会が行われました。

昨年度は社会保障制度の現状を講演で学びましたが、今年度は各分野からの発言報告がおこなわれ、高齢・障害・保育・児童養護といった、全国会議ならではの報告がありました。

第二次世界大戦の終結から80年を迎えます。世界では、未だに戦火が広がっている状況や、沖縄南西諸島では「専守防衛」という名のもとに、戦闘車両や軍事施設が住民の反対を押し切って整備が進められていることは、日本国憲法前文に明記されている「われらは、全世界の国民が、ひとしく恐怖と欠乏から免れ、平和のうちに生存する権利を有することを確認する」に反します。絶対に「平和」を守らなければなりません。

高齢分野では、報酬改定によって「訪問介護事業」が特に大きく報酬が引き下げられ、過去最大の

はびきの園

「自治会選挙」

4月30日、2025年度の自治会



役員を決める選挙がありました。今期は4名の方が立候補して各自選挙活動に取り組みました。タスキをかけて、ポスターを持って各班を回り公約を伝え、それぞれオリジナリテイのある選挙グッズも作成し、候補者の班の仲間も協力して取り組まれていました。投票日は投票用紙に記入される方や写真を見て投票される方がいました。そわそわしながら開票を迎え、選挙の結果3名が当選されました。今年度の新たな自治会役員と共によりよいはびきの園に行けたらと思います。選挙に立候補された方お疲れ様でした！

(森本)



「自治会選挙」

529社が事業者の倒産や休業業・解散となり、今後も増えるのではないかと懸念されています。

福祉の「公的責任」の崩壊が、高齢分野から障害、そして保育分野へと着実にすすめられているのがこの間の制度の動きを見ると明らかにされており、全国会議で連帯しての「運動」が必念であることを感じます。

大阪支部では6つのブロック（市内・北摂・北河内・中河内・南河内・堺泉州）にわかれて、より地域に根付いた、社会福祉の実態の把握、連携、そして身近な法人同士ならではの、よりリアルな情報交流ができるように活動し始めています。

大阪っぽく、元気な「明るい社会福祉」となるように、そして「権利としての社会福祉」を守っていききたいと思えます。（関口な）

